



ニコラ・パラン トリオ
モマン
Moments

ありきたりのジャズトリオを越えて さらにその先の世界へ

ギタリスト、ニコラ・パランによるオリジナル曲を通して、三人のミュージシャンがあなたを繊細で真摯な世界へと誘う。

プロジェクトの始まりは、共通の欲求と美意識を分かち合うための、ある出会だった。彼らは豊富な経験と経歴を活かし、フォーク、アフリカ音楽、ブルース...つまりあらゆるジャンルの音楽を借用しつつ、ジャズから即興音楽までをこなす。彼らにとって大切なのは、アーティスティックかつパーソナルな長い探求の末、得られた音楽に込められたエモーションだ。

すべては、^{パリ} Paris ^{ジュネス} Jeunes ^{タラン} Talents のサポートを受けたニコラ・パランの作曲に始まった。彼はユニークかつ斬新なトリオを結成。パーカッショニスト、ギヨーム・アルボンヴィルとの出会いがグループに化学変化をもたらし、数々のコンサートを経て、ラジオ・フランスでのレコーディングへと至った。

サンジェルマン・デ・プレのジャズフェスティバル、^{トランブラン} Tremplin ^{ジュネス} Jeunes ^{タラン} Talents 部門で決勝に出演した彼らは『審査員特別作曲オリジナル賞』を受賞。その後ニコラ・パランはコントラバス奏者スズキ ケンタローに出会い、彼の参加がトリオのポテンシャルをさらに高めた。

ファーストアルバム、『^{モマン} Moments』はムドン・スタジオでレコーディングされ、ミックスはスプレンドイド・スタジオのフランソワ・ボランが担当、^{ロートル} L'Autre ^{ディストリビューション} Distribution により配信され、成功を博した。

2015年にはセカンドアルバムの発売を予定している。

三人のミュージシャン、一つの世界

ニコラ・パラン — ギター

5歳のころよりバイオリンを始め、音楽に興味を持った。-コンセルバトワールでビオラを学び、13歳でギターを弾き始めた。

ナンシーの国際音楽アカデミーおよび American School of Modern Music 卒業。とくにジェラルド・キュルビヨン、ミシェル・ペレス、フィリップ・マセ、ピーター・ギロン、マイク・オニールの薫陶を受ける。

さまざまなジャンルでの演奏活動をしている：ミロダ Miroda (ファド・フォーク)、Cate Petit (Etienne M'Bappé)、Chocolate (ファンク)、Assek (ロック) Anita Sy (ブルース)、G.Roda (シャンソン)、Garwall (メタル)、French Delight (ジャズ)、Cosmic 4tet (フュージョン)、Deer (フォーク) ...

コンサートも定期的に行っており (Jazz en Baie、Jazz à St Germain des Prés、Européen、Sunset、Gibus、Baiser Saléten...) カンパニー マタドール Matador とのシアター公演 (フランスツアー) にも参加。

彼のインディペンデントアルバム モマン Moments ロートル ディストリビューション は L'Autre Distribution より配信されている。

個性的な美的感覚を大切にしつつ、洗練を追求。作曲の才能を発揮し、独特な世界を生み出すことに取り組んでいる。

スズキ ケンタロー — コントラバス

コントラバス奏者、作曲家。

東京生まれパリ在住。東京にてジャズ並びに即興演奏の音楽家として主に活動した後、渡仏。

ジャズ、即興演奏、クラシック、バロック音楽、民族音楽等の多種多様なプロジェクトに参加する傍らでコントラバス、クラシック音楽、をフランスの高等教育機関、ルポール ドンセ ニュマン スュペリユール ドゥ ラ ミュジック Pôle d'Enseignement Supérieur de la Musique セーヌ サン・ドニール ドゥ フランス Seine Saint-Denis Ile-de-France にて学び、エレクトロアコースティック音楽をパリ第8大学にて学ぶ。

同時に自身のプロジェクトでの活動も精力的に行っている。

人間の持つ根源的、原始的な感覚に向かって行くような音を紡いで行く事を常に目指し、「エスピラ Espira」、オトムス 「Otoms」、虚空 「虚空」等の自身のプロジェクトによる演奏活動、ダンスや演劇、映像等との共演というようなメディアの垣根を越えた活動を精力的に行っている。

website:kentarosuzuki.com

ギヨーム・アルボンヴィル — パーカッション

アルデンヌ出身。19歳でドラムを習い始めた。

数年の勉強 (ナンシーの国際音楽アカデミーで Franck Agulhon に師事) ののち、Wide Open Cage (エレクトロ)、Arkol (ポップロック) などのまったく異なる音楽スタイルのグループやミュージシャンと共演。ワーナーと契約し、Epikoi Enkor (子供向け レナ サーカス 音楽)、Lena Circus (実験音楽)、リコ Riko ゴトートリオ Goto trio (ジャズ)、ミロダ Miroda (ファド・フォーク) などのフランスツアーに参加。

日本でのツアーを定期的に行っており、ヨーロッパ各地でも演奏活動している。

2009年には、彼のファーストソロアルバム ザ リズミック トリップ 『The rhythmic trip』 (ミミミ・レコード) を出した。

ジャズ、フリージャズ、伝統音楽などにインスパイアされた自由な奏法によるスタイルを発展させ、そのスタイルはリズムの繰り返しではなく、拍動に基づいている。レコーディングに参加したアルバムは20枚を超える。

リファレンス

Jazz à St Germain-des-Prés、Jazz en Baie Mont St-Michel、Sunset、Sunside、Festival Quai Jazz
L'Européen、L'Improviste、Belushi's、Caminito Cabaret、Kibélé、Caveau des Artistes、
Living B'Art、Vent des Grèves、Babilo、Ciné-Concert au Limonaire

Auditorium de l'Onde、Halle Freysinet、Afordable Art Fair、Centre Carpeaux、Manège Royal、FNARS
M.A.I.rie d'Arpajon、Médiathèque Aimé Césaire、Théâtre des 2 Rêves、Tamanoir
Astor St Honoré、Médiathèque Sabatier、Salle Gustave-Tour Eiffel

Radio France、France Inter : *Summertime*、France Musique : *Open Jazz*、*On ne badine pas avec le Jazz*
FIP : *Club Jazz à Fip*、Aligre Fm : *Liberté sur Parole*、*Jazz Box*、*W3 Birdland*
Radio Campus Paris : *Jazz & Co*、TSF Jazz : *Mi La Ré Sol Si Mi*

JazzMagazine-JazzMan、Citizen Jazz、Les DNJ、Culture Jazz、Lylo、Zicazic、La République du Jazz
Couleurs Jazz、Monticule Musique、Blues & Co、Médiathèque Musicale de Paris

Hervé Krief trio、Kobo Concept、Julian Daian 5tet、Miroda、Lena Circus
Virginie Capizzi 4tet、Free Spirits、Mystère de la Grande Seinpresse、Rafaele Arditti
French Delight、Scar、Deer、Cosmic 4tet、Formol Globol、Rico Goto Trio

コンタクト



+ 33 (0)6 63 39 85 86
contact@nicolaspurent.com

